



SEADS研修生は鶴岡市内での新規就農を目指し、市内各地で実習を行っています。鶴岡市をはじめ、全国各地から集まった研修生をあたたくご支援ください。

SEADSのホームページはこちらのQRコードからご覧いただけます。

## 百瀬校長が緑白綬有功章を受賞

11月17日に百瀬清昭校長が公益社団法人大日本農会の緑白綬有功章を受賞しました。

これは長年にわたる農村地域社会への貢献を表彰するもので、百瀬校長においては次世代の農業を担う新規就農者の育成、経営安定支援と地域農業の安定・発展への寄与が特に高く評価されました。

今後も百瀬校長はじめSEADS事務局が一体となり、新規就農者の育成に取り組んでいきます。



(百瀬校長と表彰状)

## 農業経営や農産物加工に関する研修を実施

12月14日に、農業経営に関する講義として耕畜連携事業を行う「合同会社わらっと」さんから起業までの経緯や農業者の心得をお話いただきました。

また、農産物加工を行う「庄内ふるさとファーム」さんの食品加工場への視察、「野菜みらい計画」さんによる6次産業化の取組みについての講義も行い、盛りだくさんの一日となりました。



(上：講義の様子、下：視察での質疑応答の様子)

## SEADS農場のぼかし肥料作りを開始

SEADS農場で使用するぼかし肥料作りが始まりました。ぼかし肥料は、原材料である米ぬかやおから、カニ殻にSEADS敷地内で採取した土着菌を培養して作ります。

研修生は、年明けから1か月かけて数種類のぼかし肥料を作り、次期作に向けた準備を進めていきます。



(土着菌を採取する様子)

## 暮らしの紹介



先月のたくあん作りにつき、12月はSEADSで栽培した白菜、にんじん、ニンニクを使用してキムチ作りを行いました。

よく味を染み込ませるために、はじめに塩のみで漬ける「下漬け」作業を行った後、余分な水分を抜き、数日後に味付けを行いました。食べ頃はさらに数日後。研修生の夕食として提供されます。